

(別添 4)

【山形県中山町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

当町では、「中山町の教育等の振興に関する大綱」において、GIGAスクール構想による一人一台端末等の効果的な活用を図り、多様な子どもたち誰一人取り残すことなく公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できるICT教育を推進することを掲げている。

これまで整備を進めてきた1人1台端末や電子黒板、無線LAN等の学習環境を生かしたICT機器の効果的な活用をすることで、個別最適な学び・協働的な学びの一体的充実を図る。

2. GIGA第1期の総括

令和2年度に学習者及び指導者用端末を整備するとともに、通信速度1Gbpsに対応するための通信ネットワークの整備を行った。また、授業準備や機器の不具合対応等のために、ICT支援員を3校に1人配置することに加え、ICTの推進、学校間の差を埋めるための情報提供やアドバイス等を行う学校支援員を配置し、学習活動のサポートを充実させた。

1人1台端末の授業や家庭での活用は日常的になりつつあるが、現在も学校・教職員間でのICTスキルに多少の差が見受けられることから、引き続きサポートを行い、ICTスキルの向上を図る必要がある。

令和6年度末時点で導入から4年が経過する端末は故障も多くなってきており、また、校内Wi-Fiについては、状況によっては速度が低下する例も見受けられることから、ネットワークアセスメントの実施により課題を特定しつつ、改善及び今後も適切な機器更新を継続的に実施していく必要がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

① 1人1台端末の効果的活用

端末の整備・更新と十分な予備機の整備により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持するとともに、電子黒板やデジタル教科書等のデジタル教材の活用を推進していく。

また、授業や校外学習、家庭学習など様々な場面での1人1台端末の活用を、ICT支援員及び学校支援員を活用しながら積極的に進める。

② 個別最適な学び・協働的な学びの一体的充実

当町では、OSメーカーが提供する教育機関向けの学習支援ツールに加え、個別最適な学びのためのWeb（AI）デジタルドリルを学校の要望に応じて個別に導入したり、協働的な学びのためのクラウドを活用した授業支援ツールを導入したりと、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に併せて課題に取り組んだり、自分の考えをまとめ、発表・表現したりできるような学習環境の整備を行ってきた。

また、県教育センターで示しているICT活用方法と実践を参考に、教育委員会が町内小中学校の実践を取りまとめて各校と共有し、教職員が授業等でICT機器を効果的に活用できるようにしてきた。

このようなことから、整備した有用なツールの活用が促進されるよう、教職員の知識習得や技術向上のため、学校からの求めに応じて研修を実施していくとともに、町内の実践を紹介するなどの情報提供を行っていく。

③ 学びの保障

特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して一人ひとりの特性に合わせたきめ細やかな支援とともに、別室登校や不登校傾向の児童生徒に対して、教室から離れていても学びを続けられるよう、ICT機器の利活用を模索しながら、誰一人取り残さない学びの保障を目指す。